

コロナ禍と女性の貧困 そして歯科医療

日時 **5月29日** (日) 14:00~16:30 (開場 13:30) 

会場 **兵庫県保険医協会 5F 会議室**

講師 一般社団法人 Colabo 代表

仁藤 夢乃 氏

歯科分野の話題提供

『歯科酷書』から考える“人権としての歯科医療”

富澤 洪基氏 (尼崎医療生活協同組合生協歯科/当連絡会共同代表)

参加費 **無料** (どなたでもご参加いただけます)

定員 **80人** (事前申込制)

*終了後、歯の健康相談(感染対策の上開催/無料)



仁藤 夢乃(にとう・ゆめの)氏 ご紹介#

1989年生。中高時代に街をさまよう生活を送った経験から、10代女性を支える活動を行っている。Colaboでは、10代の少女たちと支援する/される関係ではなく「共に考え、行動する」ことを大切にしており、虐待や性暴力被害を経験した10代の女性たちとともにアウトリーチや、虐待や性搾取の実態を伝える活動や提言を行っている。

明治学院大学国際平和研究所研究員。第30期東京都「青少年問題協議会」委員。厚生労働省「困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会」構成員を務めた。主な著書に『難民高校生』(筑摩書房)、『女子高生の裏社会』(光文社新書)など。

【問い合わせ先】 兵庫県保険医協会事務局 吉永

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5階

TEL. 078-393-1809 FAX. 078-393-1820

ysng@doc-net.or.jp ⇒会場地図は裏面参照

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申込み下さい。会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。マスクはご持参ください。

コロナ禍のもと、日本の少女たちはどのような状況に置かれているのでしょうか。今回の企画では、貧困に陥った10代女性を支える活動をされている仁藤さんにお話をお伺いし、虐待や性暴力被害を生み出す社会的な構造や加害者の存在に目を向け、大人たちの責任を問い、困っている子どもたちがどんな想いしているのか、背景には何があるのか、私たちには何ができるのか、考えたいと思います。

また歯科医療現場からの報告として、大勢としては虫歯が減っているものの、貧困家庭の児童・生徒を中心に「口腔崩壊」が散見される現状を全日本民医連『歯科酷書』からご紹介し、格差拡大と医療供給の問題などについて、参議院選挙の前に意見交換ができれば…とも考えています。みなさまのご参加をお待ちしております。

主催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

共催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会

協賛 兵庫県歯科医師会/兵庫県歯科技工士会/
兵庫県歯科衛生士会

後援 兵庫県/神戸市/神戸新聞社/朝日新聞神戸総局/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞社/サンテレビジョン/ラジオ関西

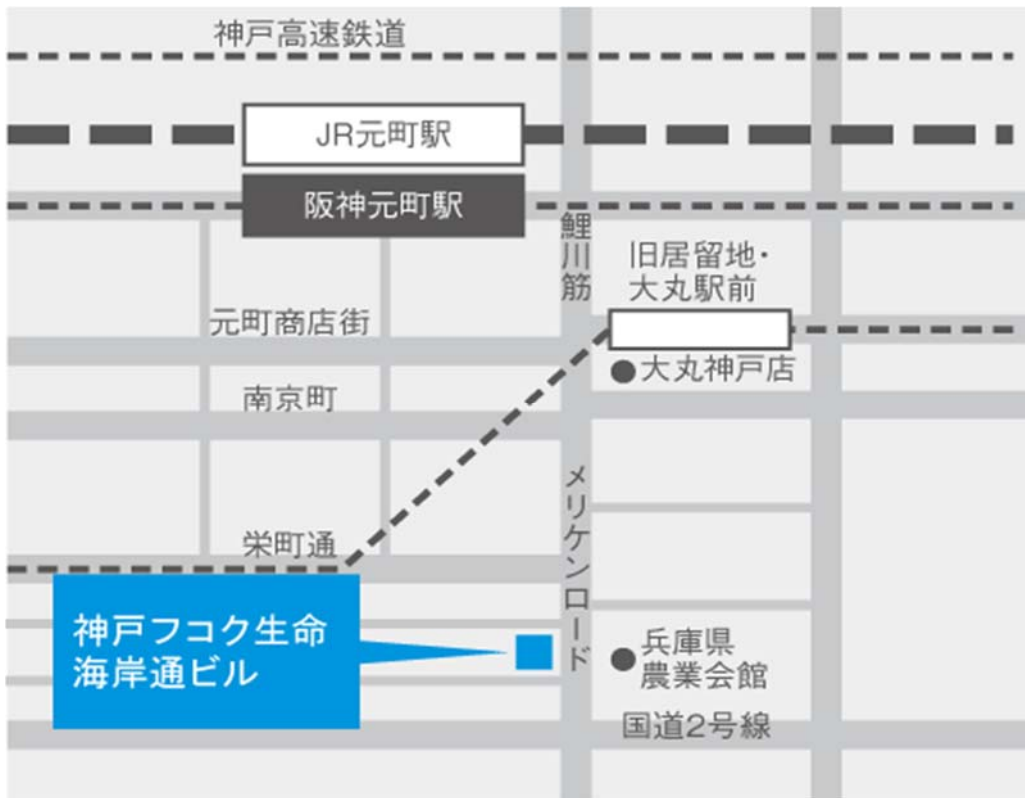
【来場参加の申し込み】 FAX078-393-1820 または ysng@doc-net.or.jp まで

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会 (5/29) に参加します

() 人 所属など _____ お名前 _____



【会場地図】



「保険でより良い歯科医療」兵庫県連絡会のご紹介（設立趣旨より）

おいしく、楽しく食べることは人生を豊かにするとともに健康の基本です。しっかりと噛むことで全身の健康状態を高めます。とくに今日の歯科医療は、糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患にいたる高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっています。お口の健康を保障するためには保険で安心して歯科医療を受けられることが望まれます。

また、成人の8割は歯周病といわれ、通院困難な高齢者・障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズも高まっています。

こうしたニーズに応えるよう歯科医療従事者は、「いつでも、どこでも、お金の心配なしに安心して医療を受けられる」ことを理念とした「国民皆保険制度」のもとで、憲法 25 条に基づく社会保障としての歯科医療に携わっています。

しかしながら、患者さんにとって必要な技術が保険で扱えない、従事者の労働力に見合うように保険点数が引きあがらない、患者さんも窓口負担が高くて受診を躊躇するなど、長く続く政府の「低医療費政策」により歯科医療は疲弊しています。高齢化が急速に進み、医療技の進歩も著しいのにもかかわらず、この数十年間、保険点数は据え置かれ、新しい技術が保険で認められていないのです。

政府が歯科医療費を増やさないため、歯科医療は危機に瀕しています。歯科技工士、歯科衛生士を養成する学校は定員割れ・廃校が続いています。歯科大学・歯学部も近年は志願者減・定員割れになるなど、お口の健康を守る歯科従事者の担い手がなくなるという深刻な事態になりかねません。

わたしたちは歯科医療の危機を乗り越え、国民の口腔の健康を守るために、歯科医療関係者と患者・住民との協同のネットワークとして、「保険でより良い歯科医療を求める兵庫県連絡会」を立ち上げ、歯科医療の充実とその大切さを国民各層に呼びかけていきます。